

神戸市外大だより

VOL.219
Winter

第11回全国大学生マーケティング・コンテスト (MCJ) 決勝大会報告

2022年12月17日(土曜)、マーケティングプランを英語で発表し、競い合う「第11回全国大学生マーケティングコンテスト (MCJ:Marketing Competition Japan)」の決勝大会が「ANCHOR KOBE」にて開催されました。

1916年に創業し、本拠地である富山県以外でも、直営店を運営するなど成長を遂げた株式会社能作をメインスポンサーに迎え、「台湾・中国市場での錫製品の認知・拡大を成し遂げるためにはどのようなマーケティングプランが必要か」というテーマに対し、10大学20チームの応募がありました。決勝大会には、書類と動画による予選を通過した本学、神戸大学、法政大学、中央大学の4大学から全8チームが出場しました。決勝大会当日には、スポンサー企業の商品の質の高さ、ブランドのコンセプトに加え、中国・台湾市場でのライフスタイルを意識した斬新かつ説得力のあるプレゼンテーションが繰り広げられました。

優勝は法政大学の「50SN」、2位は中央大学の「Vivace」、3位に法政大学の「Not Found 404」が入賞しました。本大会の様子は、MCJ公式YouTubeチャンネルにて配信中です。

<https://youtube.com/playlist?list=PLG0SfKpkWlQohT2Fp-empAT1OKt9SNc1o>



インタビュー

① Kobe Bloomers(神戸市外国語大学)

1. 決勝大会に向けてどのような準備をしましたか？

まずは株式会社能作の現状把握、次にターゲット選定、そしてマーケティングプランという風にリサーチを行いながら構想を練りました。そこから、スライドショー、スピーチを英語で作り、先生や友人の手を借りながら完成させました。

2. 今年度のテーマは、台湾・中国市場における錫製品の認知・売上拡大というテーマでした。海外市場でのマーケティングプランを考える上で苦労したことは何ですか？

台湾や中国の文化や流行は日本とは異なっており、現地の人々が何を求めているのか、何に興味を持ってくれるのかを考えるのが大変でした。また現地の情報を調べようとしても、なかなか出でず、中国語で調べたり、留学生に聞いたりしながら進めました。

3. 決勝大会で楽しかったことは何ですか？

一番楽しかったことは、他大学の参加者や審査員の方からプレゼンについてアドバイスをもらえたことです。予算の予測方法やターゲット設定まで教えていただくことができ、とても勉強になりました。普段の学校生活で、他大学生やマーケティングに関する仕事をしている方とお話する機会はめったにないので楽しかったです。

4. 来年のMCJに出る外大生に向けてアドバイスやメッセージなどあればよろしくお願いします。

YouTubeでMCJの大会の様子が見られるので、プランの構成からプレゼンの運び方、審査員からのフィードバックまで確認して参考にしてみてください。



インタビュー

② Plying Dinosaur(神戸市外国語大学)

1. 決勝大会に向けてどのような準備をしましたか？

中国における人口動態や購買傾向を調べた他、株式会社能作が過去におこなってきた海外展開で具体的にどのようなものがあったのかを参考にしました。その上で先生にフィードバックをいただき、プランにできるだけ穴が生まれないように最後まで工夫を凝らしました。

2. 今年度のテーマは、台湾・中国市場における錫製品の認知・売上拡大というテーマでした。海外市場でのマーケティングプランを考える上で苦労したことは何ですか？

中国や台湾は日本と文化的に一致するところもあるが故に、全く別の文化圏として捉える必要がなかった一方で、そういった点においてどこまで共通の認識をもっていいのかを決めることが大変でした。また、人口の推移や購買傾向を参考にした上で高齢者に向けた施策を考えましたが、マーケティングがかなり難しいとされるこの世代に、限られた予算の範囲で株式会社能作の錫製品の強みをどうわかってもらうか、製品の特性を活かせるポイントは何かを考えるのも非常に苦労した点になります。

3. 決勝大会で楽しかったことは何ですか？

楽しかったことはプレゼン発表本番です。大人を含めた多くの人がいる前でプレゼンすることは学生ではあまり経験できないことなので、かなりワクワクしていました。あと個人的にプレゼンが大好きというのもあります。

4. 来年のMCJに出る外大生に向けてアドバイスやメッセージなどあればよろしくお願いします。

外大生にとってビジコンやマーケティングは敷居が高い印象を受けるとは思いますが、そこまで構える必要なく気軽にチャレンジしてみる事が大事だと思います。



MCJに関するお問い合わせ先 【E-mail】 marketingconj@gmail.com
MCJ 【Website】 <https://www.mcjapan.org/>

CONTENTS

- 01. 第11回全国大学生マーケティング・コンテスト (MCJ) 決勝大会
- 02. 模擬国連世界大会
- 03. 第72回語劇祭
- 04. 留学体験談
- 05. グローバル人材育成講座 (メットライフ生命) / 2022年度魅力発信事業 講演会
- 06. ボランティアトピックス / 神戸高専との同一法人下での運営 / 出版物紹介

本学の学生が政策提案文書最優秀賞など複数の賞を受賞！

世界11カ国の42大学・団体から多様な国籍を持つ298人の大学生が参加した模擬国連世界大会が、11月20日から26日の日程で神戸ポートピアホテルや神戸市会議場を会場として開催されました。

国連総会や核兵器の不拡散に関する条約 (NPT) 再検討会議をはじめとした4つの議場において、「平和」をテーマに白熱した議論・交渉がおこなわれました。

本大会に参加した神戸市外国語大学 (以下、本学) の大使団は各議場においてリーダーシップを発揮し、決議の採択へと貢献した結果、複数の賞を受賞する優秀な成績を収めました。

本学大使団の表彰

<表彰概要>

○ガボン大使団・チュニジア大使団

大使団奨励賞

議場での議論等に積極的に参加し、貢献した大使団に対する賞。(上位 20%にのみ与えられる賞)

政策提案文書最優秀賞

「ポジションペーパー」と呼ばれる大会前に提出する政策提案文書に対する賞。


(上位 10%程度にのみ与えられる賞)



【模擬国連世界大会の特設サイト】各会議の概要や参加した学生の感想などを掲載しています。

URL: <https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/mun/2022kobe.html>



Cheese! / 



(敬称略)



【劇団賞】

最優秀劇団賞…ロシア語劇団

優秀劇団賞…イスパニア語劇団

【裏方賞】

音響賞…ロシア語劇団

照明賞…中国語劇団

字幕賞…イスパニア語劇団

舞台美術賞…イスパニア語劇団

衣装メイク賞…ロシア語劇団

【役者賞】

最優秀主演役者賞…両川 唯人(ロシア語劇団2年 役名:アルベーン)

優秀主演役者賞…大澤 秀弥(イスパニア語劇団1年 役名:ホルヘ)

最優秀助演役者賞…大柳智恵子(中国語劇団2年 役名:マクベス夫人)

優秀助演役者賞…澤井 佳佑(英米語劇団2年 役名:スティーブン)

最優秀若葉賞…平田 恋奈(第二部英米語劇団1年 役名:ジョシュ)

優秀若葉賞…大澤 秀弥(イスパニア語劇団1年 役名:ホルヘ)

【ベストキャラクター賞】

英米語劇団…澤井 佳佑(2年 役名:スティーブン)

イスパニア語劇団…山口ほのか(2年 役名:テレ)

中国語劇団…大柳智恵子(2年 役名:マクベス夫人)

ロシア語劇団…両川 唯人(2年 役名:アルベーン)

第二部英米語劇団…平田 恋奈(1年 役名:ジョシュ)



ロシア語劇団

監督:野村祐介さん(3年)

無事に語劇祭を開催することができて、ホッとしています。慣れないことが多く、心身共に苦労しましたが、最優秀劇団賞というこれ以上ないほど素晴らしい賞を頂くことが出来て、達成感で胸がいっぱいです。



イスパニア語劇団

監督:山口ほのかさん(2年)

大変達成感を感じています。どうしたら団結できるかを悩んでいましたが、本番が近づくにつれ、皆が良い劇を作るという共通の目標を持ってくださると感じ、最高のチームだったと思って終わることが出来ました。やり切ってくれた皆に感謝の気持ちで一杯です。



英米語劇団

監督:宮腰萌さん・角田春佳さん(3年)

大変なこともありましたが、本番を無事終えることができよかったです。語劇に関わって下さった皆さんに感謝です。全員男役のコメディで難しい部分もありましたが、演出、役者の凝った演技や、衣装メイク、字幕、音照も素晴らしく、音響としても楽しめました。(宮腰)

まずは本番まで無事に終わられて安堵の気持ちが大きいです。劇団員はもちろんですが他劇団の後輩や同期、先輩方、委員会の皆様にも様々な場面で助けていただいたのもあって本番を迎えることができました。ありがとうございました。(角田)



中国語劇団

監督:福元円花さん・西岡那奈さん・寺輪桃花さん(2年)

今年は小ホールでの開催などイレギュラーなことが多かったですが、劇団員皆で乗り越えることができて嬉しく思うと同時に、ほっとしています。多くの方からのご支援があったからこそこの語劇祭でした。本当にありがとうございました。



第二部英米語劇団

監督:下園果怜さん(3年)

大学生活の思い出に残るかけがえのないものとなりました。2部語劇のメンバーの皆さん、語劇祭実行委員会の皆さん、協力して下さった方々には感謝してもしきれません。ご来場して下さった皆様、本当にありがとうございました！



最優秀主演役者賞

ロシア語劇団/両川唯人さん(2年)

あっという間でした！ロシア語劇団はここ数年の間主演役者賞を取り続けているので、それを断ち切る形にならなくてホッとしたというのが1番の感想です。今年は各人の主体性を重視して行い、特にトラブルもなかったのも、とてもいい形で終われたと思います。



最優秀助演役者賞

中国語劇団/大柳智恵子さん(2年)

達成感と寂寥の織り混ざった気持ちを感じています。原作を精読し、何度も演技や発音の練習を重ねたので、本番は思い残す事なくマクベス夫人を演じ切れました。しかし同時に、今まで長い間苦楽を共にした劇団員と過ごす日々が減ると考えると、心淋しく感じます。



米岡 光さん 英米学科 4年(2019年入学)

留学先機関名：イギリス／ニューカッスル ニューカッスル大学

留学期間：2021年9月～2022年7月



留学先を選んだ理由は？

1番の理由は大学の規模でした。規模が小さい外大とは違って様々な学部がある総合大学だったので、色々なことを学んでいる学生と知り合うことができると思いました。その他にも街の治安が良さそうだったのも理由のひとつです。

留学先の大学のよいところ

留学先を選んだ理由でも書いた通り、大学の規模が大きいので多様な生徒と知り合うことができます。また部活やソサエティの候補も多いので自分が興味のあるコミュニティを見つけることができると思います。



留学生活の環境は？

ニューカッスルという街は大きすぎず小さすぎずのちょうど良い規模の街でした。特に不便を感じることなく生活できました。寮に住んでいたのですが、いつも一緒にいた友達が料理が好きだったおかげで食事には困りませんでした。



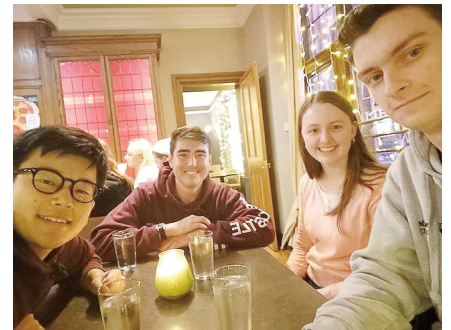
留学の目的・留学を通して得られたことは？

留学の1番の目的は日本を出て外国で暮らすことで、自分の価値観や考え方に变化があるのを知りたかったからです。その結果何の変化がなくてもそれはそれで良いと考えていました。得られたことは大きく二つあり、一つ目は世界各国の友達ができたと、そして二つ目は精神的に寛容になった気がしました。宗教やセクシュアリティが多様な分、違いや差に対して寛容になることができたと感じます。



一番の思い出は？

留学終盤に友達がお別れのパーティを開いてくれたことです。今まで仲良くしてきた友達と離れないといけなくなるのはとても悲しかったですが、最後にとっても良い思い出ができました。



留学して変わったことは？

色々な意味で「違いや差」に動じなくなりました。日本とは違って宗教やセクシュアリティの多様性があるので他の人に対する寛容さのようなものが身についたと思います。慣れない環境でも生活できる自立心も身につきました。



夢・目標は？

そこまで大きな夢はまだありませんが、この経験を活かして世界でビジネスをする機会は今からもっと増えてくると思うので、日本だけでなく外国でも仕事ができるような社会人になりたいと感じています。そのために言語力を落とさないようにしたいです。

留学体験談



新たに「グローバル人材育成講座」を開講しました！

神戸市外国語大学とグローバルに活躍するメットライフ生命保険株式会社が2022年度より新たにスタートさせた「グローバル人材育成講座」が、10月～12月にかけて計3回開催されました。

講師には各回ごとに、メットライフ生命の執行役員をはじめ、最前線で活躍される方々を迎え、参加した約30人の学生と意見を交わしたり、クイズ形式を取り入れたりとコミュニケーションをとりながら講義がおこなわれました。2023年度も引き続き、メットライフ生命と協力し、新しい講座の開講など人材育成に取り組めます。



【神戸市外国語大学
メットライフ×生命】



2022年度魅力発信事業 講演会開催報告

『神戸発！場をつくる－Cultureの芽を育てるために－』

神戸を拠点に活躍されている講師の日常や経験から、人と人との繋がり大切さや場づくりについて講演いただきました。

- 第1回 7月28日(木曜) 「神戸からローカル地産地消経済をつくる」小泉 寛明 氏
- 第2回 9月29日(木曜) 「まち、田畑、こころを耕し、たねを蒔こう！」小泉 亜由美 氏
- 第3回 11月24日(木曜) 「街の憩いの場所として」大橋 崇博 氏
- 第4回 12月22日(木曜) 「ちいさなまちのあそびかた」森本 アリ 氏
- 第5回 1月26日(木曜) 「子育て中のおとなの、まち・ひととの関わりを考える」佳山 奈央 氏



視聴者からの感想

現在は企業や日常生活においても効率化を求めるあまり、人と人との繋がりが希薄になっており、何においても機械的だなと感じることが多かったのですが、今回の講演会を聞いてやはり人と人との繋がりを大切にすることが信頼にもつながっていくんだなと思いました。

町に住む方々の心の距離感に驚きました。身近な人とコミュニケーションを日常的にとる機会がすごく少なくなってきていると感じ、はっとしました。「新しいものを作らない」という言葉が印象的で、今を生きる私たちのこれからの思うと、とても前向きな考え方だと思いました。新しいものは時間が経つと塗り替えられてしまうので、何を大切に生きていきたいのかを考えると、今までを振り返ることをもっと大切にしていきたいと思います。

『名訳・迷訳 — 翻訳のたのしみ』

2人の神戸市外国語大学客員教授による講演会を開催しました。講演会には対面・オンラインあわせて約430人が参加しました。2人の作品を取り入れながら、原作の良さを生かすも殺すも翻訳次第であると解説しました。

10月21日(金曜) 柴田元幸客員教授×きたむらさとし客員教授



2022年度魅力発信事業講演会のアーカイブは下記よりご覧いただけます。

https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/_2022.html



TOPICS

ボランティアコーナー

「英語でなかよし」が今年度のUNITY地域交流事業に

他大学の学生さんも運営に加わっています。



「英語でなかよし」は小学5, 6年生に英会話の楽しさを伝える活動ですが、今年度後期からは流通科学大学の学生さんも学生リーダーとして参加。子どもたちにとってはいろんな人と英語で話す機会が増え、学生同士も活動を通じて交流しています。

中学生とSDGs勉強会

11月30日(水曜)伊丹市立南中学校3年生のSDGs勉強会の一環として、SOCIO系学生サークル5団体が各活動の紹介を行いました。南中学校の生徒さんたちは事前に7時間の調べ学習をしていただけあって、どの発表もメモを取りながら熱心に聞いてくれました。

本学学生にとっても、自分たちの活動に高い関心を示してくれる中学生の反応に励まされ、また、普段の活動を改めて見直すよい機会となりました。



学生団体と発表のテーマ

1. Voice up Japan 「生理の貧困」
2. MANA 「フェアトレードとSDGs」
3. TRY 「TRYの難民支援について」
4. Green Voice 「GreenVoice活動報告」
5. ボランティアコーナー
「ボランティアコーナー学生スタッフのSDGsな取り組み紹介」



中学生の感想から

- ・日本は安全に暮らせる国と思っていたが、日本でも過酷な暮らしを強いられている難民がいることに驚き、一刻も早くこの状況を改善したいと感じた。
- ・フェアトレードが17のSDGsのほぼすべてに貢献できると知って、周りの人にも広めたいと思った。
- ・世界で、そして日本でも、自分たちにとって当たり前前の生活がそうじゃなく、辛い思いをして過ごしている人がたくさんいることが分かった。
- ・どのグループもそれぞれ違った問題に目を向けていましたが、共通するのは「一人一人が理解し、行動すること」だと思いました。
- ・すべての目標がきつとまわりまわって、自分のことにつながるんだらうなと改めて感じた。
- ・世界が抱えている大きな問題に、自分は関係ないなんて思わず、できることをしたいと心から思います。

お知らせ

4月より、神戸市外国語大学と神戸市立工業高等専門学校の同一法人下での運営が始まります！

既にお知らせのとおり、2023年4月より神戸市外国語大学(以下、神戸市外大)と神戸市立工業高等専門学校(以下、神戸高専)の同一法人下での運営が開始されます。これに伴い、1つの法人で神戸市外大と神戸高専の2校を運営するのに相応しい法人名称として、法人名が「公立大学法人神戸市外国語大学」から「神戸市公立大学法人」に変更されます(大学名に変更はありません)。

神戸市外大と神戸高専、それぞれの学校としての独立性は維持していきますが、兄弟校になることで新たな取組ができるように、学生みなさんのご意見を伺いながら、一緒に考えていけると幸いです。

- 学生の希望に沿った部活動の合同練習
- ボランティア・環境保全活動の連携
- 協同イベント 等

学生、および関係者の皆さまにはご意見を頂戴するなど、ご協力を仰ぐことも多々あると思いますが、引き続き当法人の運営にご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。



神戸市外大



神戸高専

本学教員の出版物紹介

【教員名】 北見 諭 (ロシア学科 教授) 【書名】 〈超越性〉と〈生〉との接続 【出版社】 水声社 【出版年】 2022.3 【種別】 共著	【教員名】 林 範彦 (総合文化グループ 教授) 【書名】 参照文法書研究 【出版社】 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 【出版年】 2022.3 【種別】 共著	【教員名】 吉川 朗子 (英米学科 教授) 【書名】 Guide to the lakes 【出版社】 Oxford University Press 【出版年】 2022 【種別】 単著
--	--	---